

# そうま歴史資料保存ネットワーク

福島県相馬市の市民主体のネットワークです。

一年間の成果をシンポジウムで確認しました。

そうま歴史資料保存ネットワーク シンポジウム  
「そうまの歴史を守る・つたえる」2023



2023年  
9月3日(日)  
史跡めぐり 9:30～12:00  
シンポジウム 13:00～18:00

現地会場  
福島県立相馬高等学校講堂(史料有形文化財)  
同若柳会館  
〒976-0042 福島県相馬市相馬字大字第57-1  
現地参加は申込み不要

オンライン参加  
シンポジウムはオンライン参加可能  
Zoom利用予定  
※要事前申込み 〆切 8/31(木)  
申込フォーム(QRコード  
リンク先)よりお申し込み下  
さい

資料展示  
別会場の「若柳会館」にて、レスキューを  
行った資料の展示を行います。

主催：そうま歴史資料保存ネットワーク  
共催：科学研究費助成会補助事業「地域歴史資料保存ネットワーク構築に向けた地域文化の再生」  
(令和5年度・補助金)  
後援：相馬市教育委員会・相馬商工会議所・福島県相馬市(予定)・福島県相馬市(予定)・NPO法人  
そうま歴史資料保存ネットワーク・ふくしま歴史資料保存ネットワーク

プログラム  
9:30～12:00  
相馬市内の史跡めぐり  
案内：そうま歴史資料保存ネットワーク  
(集合) 相馬高校正門前  
(経路) 相馬高校—中村神社—中村成道—相馬市歴史資料館  
—町並み(町並み—大町通り)—若柳会館

13:00～18:00(受付 2:43—後相馬高校講堂)  
シンポジウム「そうまの歴史を守る・つたえる」2023  
1. 主催者あいさつ  
2. そうまネットの活動状況報告  
3. 報告・発表  
①「そうまネット発足の経緯」福島大学 河部浩  
②「相馬市の文化財の現状とこれから」福島県立大学 若柳由幸  
③「新史料にある相馬の商家の歴史」東北学院大学 斎藤善之  
4. パネルディスカッション  
「地域文化財の伝承とそうまネットの役割」  
進行：阿部浩一(福島大学)  
登壇者：鈴木聖樹(そうまネット代表)、齋藤善之(東北学院大学)、  
寺島真輝(ジャーナリスト)、若柳真幸(福島県立大学)、  
佐藤善美(相馬市 丁子屋商店)  
5. まとめ 奥村弘(神戸大学)

「そうま歴史資料保存ネットワーク」は13年前の東日本大震災、その後2年続きの福島県沖地震、水害によって歴史ある建物の解体が進み、歴史ある街並みは失われつつあります。

民間に残る文化財をできる限りレスキューしようと立ち上がった市民主体の団体です。発足から1年、活動の成果をシンポジウム「そうまの歴史を守る・つたえる2023」でまとめることができました。全国のネットの皆さんの多大のご協力に感謝します。

シンポジウムの記録集が出来上がりました。会場に持参しています。

解体された土蔵からレスキューした商家の資料の調査を継続しています。1月に大学生による研究成果発表会を開催しました。

明治時代から市民に親しまれてきた割烹レストランが解体されることになり、什器・資料をもとに展覧会を開催しました。多くの市民の皆さんが来場し関心の高さをうかがわせました。資料の整理・保存が課題です。

市民有志の呼びかけで組織を立ち上げてから1年が経過しました。地震災害による家屋の解体は6年多く、度々公費負担が終了します。多くの歴史的建造物が解体され、内部の資料のレスキューはできませんでしたが、建築物は力が及ばませんでした。

市民の関心を呼び起こし、研究・保存の機会を高めることも大きな課題です。資料の整理や研究を幅広く市民に発信する活動を続けるしていきたいと思いを「そうまの歴史を守る・つたえる」活動の合言葉に、今年度もシンポジウムを開催したいと考えています。

活動や運営には宮城ネット、ふくしまネットの皆さんの多大なご支援とご指導をいただいております。

